表 I -2.5.9 様式-3(1):型 O5-1 概查調查票: 堰堤工

様:	t-3(1):型05-	1	概査	調査票	(個別施設語	己録用)	地	はすへ	こりは	5止施設機	能診断	折調査	
_	偃堤:			※施設群の評価は	は様式-3(1)型00−1	緯度				経	度			
Ę,	検年	月日	1 1	天候		点検	者								
[区域名	3		地すべりブロック名			施設名					施工年度		年	
構	造/材	質			高さ	Į.	長		調査	要番	号:		-)	
-		確認事項						-		100	-				
		種類	ロ コンクリート	□ 鋼製枠 (形式)	副堤	(基)垂直壁	(基)側壁護岸		水叫	叩き有	無	問題あり		
施	設状	況 堆積状		□ 満砂していない				(堆砂					問題あり		
			の流水状況等					水質·計測	値等				問題あり		
湧	水状	況 湧水状			流量	(最大)	1/5	水質·計測	77.70				問題あり		
10000		設 計測器	A STATE OF THE PARTY OF THE PAR		10.45			days are					問題あり		
- 20	S-SEP-MINE NO	の変状レベ		まる状況の番号を記り	スし、最も結	悪い状態につい	てレベル	判定する。	ŧ.t., }	判定机	見拠と	する写真す	番号を示	す。	
				Vis2mo 330.08	75 07 / TO	ない場合は0とす	C.M.				-	ベル		位の	
	I	種·部位	項目			その他の場合し		5)	ь	c	d	該当写真		全度 ~D)	
П				1.欠損・2.7	び割れ・	3.脱落・4.摩耗	(天端摩						100	0)	
			破損 欠損※	5.破断・6.中	申詰材の流	充出(籠枠工等	の場合)							
		本体	変位·変形※		100000000000000000000000000000000000000	•3.傾倒•4.沈	10.00								
	1	-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -	腐食	1.発錆(籠									1		
			洗掘	1.基礎地盤											
			A 1257 Y 125 L 1		2 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2	3.脱落・4.摩耗		Ý	1				1		
			破損・欠損※	A 10		充出(籠枠工等)							
堰		袖	变位·变形※		Control of the	•3.傾倒•4.沈	- U		+						
堤堤			腐食	1.発錆(籠		OF REAL PROPERTY.		-							
I			洗掘	1.基礎地盤											
			THE CLESS	1.欠損・2.ひび割れ・3.脱落・4.摩耗											
			破損・欠損※	破損・欠損※ 5.破断・6.中詰材の流出(籠枠工等の場合)											
	_		変位・変形※	1.ずれ・2.1	1.ずれ・2.はらみ出し・3.傾倒・4.沈下										
		側壁護岸	腐食	1.発錆(籠	枠工などの	の場合)			1						
			洗掘	1.基礎地盤	の洗掘										
			施設背面の変	状 1.吸出し・2.	陥没·3.侵1	食·4.湧水·5.構	造物背面	のすきま					1		
		水叩き	破損·欠損	1.欠損・2.ひ	び割れ・3.	摩耗									
×	波損·	欠損·変位	変形に裏込め土	等の流出が伴う場合	は、コメン	小を残すこと。		(3)	施設(り健全	割全	(i ~iv)			
												基づいて決定〕			
*	1)変料	犬レベル(a・	~d)、②部位の健全	度(A~D)、③施設(の健全度	i~iv)の順	に各々量	最も悪い評	価を約	充合L	、施	設全体を	評価す	る。	
	3	← ② ←	1			評価打	旨標								
施	i	部A変	a :項目に挙げた3	現象・状況が見られない	い、もしくは	目視困難なほ	ビ軽微で	ある		•••••	…(機	機能低下して	ていない	状態)	
施設の	ji-	のB状	b :項目に挙げた3	現象・状況に対し軽微な	な変状があ	る …(本質的	りに支障し	はないが放置	置する	と機能	作低"	下を招く恐れ	れがある	状態)	
健全	iii	使 C ベ	c :項目に挙げた3	現象・状況に対し限定的	的(局所的)ではあるが明	らかな変	状がある	***	******		(機能低下	している	状態)	
度	iv	度 D	d:項目に挙げた3	現象・状況に対し著しし	v変状があ	る		・(明らかに根	養能低	下、表	Etela	は機能喪失	している	状態)	
			□ 施設機能[こ影響する変状があ	る										
B	西設店	引辺地盤状	沈	こ影響する変状がな	(1)										
	70	他の状況													
(地	10.2730	り・崩壊・士	石												
	流の!	発生状況等	E)												
	総合記	平価 該	当する選択肢にのを作	けける。点検者から施設	设管理者へ	の伝達事項とし	て「対応	の目安」をお	です。						
	対応	の目安	判断目安(原)	削、判断の目安に沿っ	て選択する	。原則とは異な	る選択を	する場合は	理由	シコメ	ント相	馴に必ず記	入する。)	
	ħ	問題なし	施設の健全度がi	である場合(部位の健	全度全てがAC	の場合)									
		監視	施設の健全度がi	である場合(部位の健	全度でBが一つ	つでも含まれる場合)									
	軽	微な補修	施設の健全度がii	iである場合(部位の健	全度でCが一つ	つでも含まれる場合)						31.7.			
	補	修·更新	施設の健全度がiv	/ (部位の健全度でDが一つで	も含まれる場	合)であり、かつ	要因が	明らかであ	る場	合や	対応	方法が明]確な場	合	
	要	詳細調査	施設の健全度がiv	であり、かつ要因か	「明らかで	ない場合や対	応方法	が明確でな	い場	合					
緊	急対	応有	【判断目安】①地すべりの理 や新たな変状 ②災害等で	施設 1人がこ											
0	必要	性無	が破損 ③人的被害発生の												
	点検網	結果と対応	の目安に対するコス	ント 変状の発生要因	の推定、	総合評価の判断	理由等								

表 I -2.5.10 様式-3(1):型 06-1 概査調査票:押え盛土工

		(1):型06-1			査調査票(個		NAME OF TAXABLE PARTY.		地	1	防止施設模	幾能診断	調査
	-	盛土エン	*:	The state of the s	価は様式-3(1)型		緯度			組	と度		
点	(検	年月日	/ /	天候		点検者							
[2	区域	名		すべりブロック	7名	施	設名				施工年度	E	年
豆	土	量	盛土高(直高全高)		法面勾配	延县	Ę	(調	查票	番号:)
1	見地	確認事項											
施	設北	199	甚工 □ なし □ あり (エ	種:) 付	帯施設□な	Section 1	-)	問題あり	
		集排水物		水路あり 🔲	流水なし □ 流水	あり 流量(最大	()	分流	大況			問題あり	
1000	-	CONTRACT OF THE PARTY OF THE PA	水 □ 湧水あり		流量(最	大)	1/分 水質	計測值	直等			問題あり	
-	-	1 計測器				2000		-				問題あり	
T P	部位	の変状レベル	レ 各項目で当てはまる	1 0000		No. of Contract of		る。ま				_	
		L種·部位	項目	状況(異常な状況がない 複合的な状況その			а	Ь	変状L c d	該当写真	健生	位の 全度 ~D)
		ما خام	破損·欠損	1.亀裂	·2.崩落·3.侵食·	4.洗掘							
		本体 (盛土)	変位·変形	1.はら	4出し・2.沈下・3.	.隆起							
		(m)	その他変状	1.湧水	2.その他								
押			破損·欠損	1.欠損	・2.ひび割れ・3.服	兑落							
え盛		法面保護工	100 at 100 at 1	4.破断	・5.中詰材の流出	は(籠枠工など	の場合)						
1		(現場打ち法枠エレキャスト法枠エ	、プ 変位・変形	1.ずれ	・2.はらみ出し・3.	.傾倒·4.沈下							
	_	張工、籠工、編柵	工、 腐食	1.発錆	(籠枠工などの場	易合)							
		植生工等)	植生生育状況	1.植生コ	にあり(a:良好,b:一部	部生育不良,c:全	全体生育不良)					
			施設背面の変状	1.構造物	物背面のすきま(背	面地盤侵食に	よる浮きなど)					
			破損·欠損	22.3 (27).0	-2.ひび割れ・3.服								
			22222	2200000	5.中詰材の流出	2 200-21 1/2 1/2 1/2	易合)						
		土留めエ			・2.はらみ出し・3.	10000						4	
		(腰止ブロッ 等)	V 100 100 100		(籠枠工などの場		VAN. 40 0			-	ļ		
付帯		47	その他	7.100	裏込め土等の流と	2 00 10 10 10000	00.41.050,01.0	+		+		-	
施			施設背面の変状	1000000	· 2.陥没· 3.侵食·	A STATE OF THE STA				-		_	
設※		暗きょエ・ドレーン	基礎地盤の変状 エ 閉塞(孔口状況)		・2.隆起(地盤に接		. 4.6/0 - 1.4.60		H	+	-	-	
*		唱られて・トレーン	破損・欠損		堆積·2.落葉等堆 ·2.ひび割れ·3.摩	Tay To Designation	人 4. て 07世		H	+	-	+	
		排水路工	変位・変形	120,000	2. ずれ(目地切れ等)	14.76		-		+	-		
		(集水升工・落	差点金	1.発錆	2.9 10(日地切れ等)	3.左列配		+	+	+	1	+	
		工含めて評価	閉塞·埋没		性積·2.落葉等堆	ŧ穑·3 植物侵	入・4 子の他		\vdash	-		-	
×ı) 要	に応じ、類似	した工種用の概査調査	1 1 1 1 1 1 1 1		- N			きたの	/	E/I - N/V		
								[最も悪	小部位の	0健全度(E(i ~ IV) に基づいて決定		
X (-		·d)、②部位の健全度(A~D)、③施	設の健全度(i			い評価	を統	合し、	施設全体を	評価す	る。
-		← ② ←		15 to 12 to 2		評価指					I the fair for the same		J. D. Jakes
施設	1	/ 发	a :項目に挙げた現象	197000000000000000000000000000000000000		W-Stranderson (ed.)		1011 20	V		機能低下し		
の機	ii iii	O B V	b :項目に挙げた現象					-		200111000	・・・(機能低下	-	
全度	in		c :項目に挙げた現象 d :項目に挙げた現象	35 -41 - 11 - 161 - 181	37 - 31 - 51 - 32 - 32 - 32 - 32 - 32		いな変状がめ (明ら)					2000	3.3.3
- 0	10				a law was and	with a view of the	. W S	3.1~1%	HE IES I	, 6/-	161成形以入	0000	1/1/25/
M	也設	周辺地盤状況	元 □ 施設機能に影響	する変状があ	5る □ 施設機能	能に影響する変	き状がない						
	-	の他の状況			14-20 dayun da	(- 1+ ++ () -			a.				
a i	-3.00		する選択肢に〇を付ける	12.100 9 3 NE 1 E			2.6.4. / 554.			- 12 1	4881 - N -45 = 7	7 + 7	· ·
	-	問題なし	判断目安(原則、¥ 施設の健全度が i で				送択でする場	10 142	三田で	コンント	作則1~4209 高口	八月旬。	1.
			施設の健主度が「であ 施設の健全度が ii であ	70.35	A COLUMN TO SERVICE SERVICES								_
	ŧ		施設の健全度が训で		100000000000000000000000000000000000000	A SOUTH A PARTY.							_
			施設の健全度がiv(部位	- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1-	THE PARTY OF THE PARTY		更因が明らか	いであ	る場合	校分分	応方法が即	日確な場	合
	-		施設の健全度がivであ	101 C. F. Bright S.		1300 1311111	CELLOTIC 1940 PAGE	-				JAE O. SI	-
竪	-	拉有	【判断目安】①地すべりの再活動						- N F				
		- Aug.	や新たな変状 ②災害等で施設 が破損 ③人的被害発生の懸念	and the first									
= ;	点検	結果と対応の	り目安に対するコメント	変状の発生	要因の推定、総合	合評価の判断理	曲等						

表 I -2.5.11 様式-3(1):型 07-1 概查調查票:排土工(切土法面保護工)

点	_		R護工)> ※施		価は様式-3(緯	度			和	度		
***	検	平月日	1 1	天候		月	検者							
2	域	名	地	すべりブロッ	ク名		施設	3				施工年	变	
CO.	土		切土高(直高,全高)		法面勾配		延長		(語	查票	号:			
Į	見地	確認事項				T New Array		was was the same						
h	设划	in l	□ なし□ あり (工利	197)	付帯施設		A SECTION OF THE PERSON OF THE	_)	問題あり	
7		集排水状法		水路あり	流水なし			and I have a second	流水				問題あり	
		法园 法面湧水			流量	(最大)		//分 水質·計	†測個	等		-	問題あり	
	-	i設 計測器名の変状レベル		#:70 # 8	+ 27 7 / E +	研(、	211-11	* u *u =+ 7	+.	t vale	- 40 4hr	レナフアオ	問題あり	= +
Ē	1) 11	の変状レベル	各項目で当てはまるも	- W. Con-			2300	ル判定する	0 3/			どり の 与具	御写を7	_
	2	[種·部位	項目	状况 (異常な状況が複合的な状況			よる)	a	b 0		1	健	全月
			破損·欠損	1 魚型	·2.崩落·3.侵	and control of the last			a	D C	u	以 コナ	(A	(~D
-		排土法面	亦位,亦形	(3.5= 35)	み出し・2.沈下	25 25 52 38 50 50 50		_			+			
	_	排土平坦面	その他変状	7 7 7 7 7 7 7	・2.土塊への		その他				+		-	
-	۲		CUNEXI	1 (7.80.4)	・2.ひび割れ・	AT STERROOM ST. ST.	. (0) [t	-	+	
		法面保護工	破損·欠損	1 1 1 1 1 1 1	・5.中詰材の		Tなどの	場合)		\vdash				
		(モルタル・コンクリー ト吹付工、現場打ち	法変位・変形	1,750,750	・2.はらみ出し			-м н /			+			
		枠工、ブレキャスト法 枠工、石張工、鉄筋	*		(籠枠工など		.,,,,			Ħ	+		-	
		挿入工、籠工、編冊 工、植生工等)			Lあり(a:良好.b		良.c:全体	生育不良)					7	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施設背面の変状		物背面のすきま	0	2020 3011	ruses am			+			
		併用工法※	Committee of the commit	1.擁壁	2.00	11423-25-20-2		24 4 5 61			t			
		(土圧や地すへ		2.杭工	2502.20									
	Ī	りに対抗する { の)		3.アンプ	カーエ									
			破損·欠損	1.欠損	・2.ひび割れ・	3.摩耗							7	
		排水路工	変位·変形	1.屈曲	・2.ずれ(目地切	れ等)・3.逆な	配							
1	П	(集水升工・落ま工含めて評価)		1.発錆										
			閉塞·埋没	1 + Fb	世往,0 芸芸				_		_		_	
1	金部	当する調査票	種ごとに評価し、①変物を用いて評価する。そ	大レベルの の際、併月	記載欄にその 用工法の施設	の健全度	録する。					{(i ~ iv) 基づいて決定		
1	途該 = c, K抜 し	3当する調査票 iv =dと置き換 きボーリングコ ≿排水路エとの	種ごとに評価し、①変物	大レベルのの際、併用 の際、併用 Eしなけれい 併設されて 明記するこ	記載欄にその 用工法の施設 ば空欄とする ている場合は こと。	の結果を記 (の健全度)) 、別途該当	録する。 i =a , ii する調査	=b, <u>」</u>	て評り	価する	定と。	基づいて決定 その際、こ	本票で付	
1 7 2	金記。 と抜け 変	3当する調査票 iv =dと置き換 きボーリングコ ≿排水路エとの	種ごとに評価し、①変物を用いて評価する。それで評価する。それで、一点では、存在では、「一点では、」」では、「一点では、」」では、「一点では、」」では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、」」では、「一点では、「一点では、」」では、「一点では、」では、「一点では、」」では、「一点では、「一点では、」」では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、」」では、「一点では、「」」では、「一点では、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「では、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、は、は、「は、」	大レベルのの際、併用 の際、併用 Eしなけれい 併設されて 明記するこ	記載欄にその 用工法の施設 ば空欄とする ている場合は こと。	の結果を記 の健全度 i) 、別途該当 (i~iv)の	録する。 i =a , ii する調査	=b, <u>」</u>	て評り	価する	定と。	基づいて決定 その際、こ	本票で付	
1:	金記。 と抜け 変	当する調査票iv = dと置き換きボーリングコン排水路工との状レベル(a~c← ② ← ①血 A	種ごとに評価し、①変物を用いて評価する。それで評価する。それまで、記録、存在では、存在による。 では、一等の地下水排除工が、分接続部を様式 -3(2)には、②部位の健全度(A	大レベルの の際、併月 ELなけれ 併設され 明記するこ ~D)、③施	記載欄にその 用工法の施設 ば空欄とする ている場合は こと。 設の健全度	の結果を記 の健全度 i) 、別途該当 (i~iv)の 評	録する。 i =a,ii する調査 順に各 [,] 価指標	= b.	て評り	価するを統合	主と。	基づいて決定 その際、こ	本票で付生評価す	-る
1	金記 - c ,	 芸当する調査票iv = dと置き換きボーリングコー排水路工との状レベル(a~c ← ② ← ① A B は B b 	種ごとに評価し、①変物を用いて評価する。それで評価する。それまで、記録、存在では、存在による。 では、一等の地下水排除工が、分接続部を様式 -3(2)には、②部位の健全度(A	大レベルの の際、併用 ELなけれ が併設され 明記する。 ~D)、③施 大況が見られ	記載欄にその用工法の施設は空欄とするでいる場合はこと。 設の健全度	の結果を記: の健全度 i) 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な	録する。 i =a,ii する調査 順に各 価指標 ほど軽微	=b. 証票を用いて な最も悪い	て評価	価するを統合	#全度: こと。 こと、 たし、 た	その際、海を設全体を	本票で付を評価す	-る いお
7.2	途 = c,	x 当する調査票額 iv = dと調査書額 iv = dと調査書額 iv = dと可能 iv = dと可能 iv = d a le b c le c iv = d a	種ごとに評価し、①変装を用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いていません。それを用いては、②部位の健全度(A) (②部位の健全度(A) () (項目に挙げた現象・4)	大レベルの の際、併月 ELなけれ 併設され 明記するこ ~D)、③施 大況が見られ 大況に対し車	記載欄にその 用工法の施設 ば空欄とする ている場合は こと。 設の健全度 れない、もしくに を微な変状があ	の結果を記 の健全度) 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な 5る …(本	録する。 i = a , ii する調 する調 価 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	= b. [動	で評価	画する を統合	www.c.k.t.k.t.k.t.k.t.k.t.k.t.k.t.k.t.k.t.k	その際、海を設全体を	本票で作を評価す	- る い り る り
1 2	途 = c, kt.しが変 3 i iii	送当する調査票 iv = dと置き換 きボーリングコ ・排水路エとの 状レベル(a~c ← ② ← ①	種ごとに評価し、①変装を用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価を表する。というという。②部位の健全度(A) :項目に挙げた現象・料は、項目に挙げた現象・料は、項目に挙げた現象・料は、項目に挙げた現象・料は、	大レベルの の際、併見 ELなけれ が併設された 明記するこ ~D)、③施 大況が見られ 大況に対し車 大況に対し車	記載欄にその 用工法の施設 ば空欄とする ている場合は こと。 設の健全度 れない、もしくに を徴な変状がま 限定的(局所的	の結果を記 の健全度 i 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な 5る …(本 1)ではあるが	録する。;; する。;; する調係を はに は に は に は に に に に に に に に に に に に に	= b. [動	て評価	で統合 かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう しんれい かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅう しんしゅう かんしゅう しんりゅう しんり	#全度に こと。 こと、 たい、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	その際、 を設全体な 機能低下し 下を招く起 ・(機能低)	本票で作を評価す	- る い お る り る り
72	金ec, kut 変 ③ i ii ii iv	当する調査書 iv = dと調査書 きボーリングン と 状レベル(a~c ・	種ごとに評価し、①変%を用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。というという。②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の関係を表している。● 「東国に挙げた現象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大レベルのの際、併月 ELしなければ、併設される。 併設される。 一、③施 大況が見られ 大況に対し 大況に対し 大況に対し でする変状	記載欄にそで月工法の施設は空欄とするでいる場合はこと。 記設の健全度 れない、もしくに 経微な変状がある とい変状があ	の結果を記 の健全度 i 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な 5る …(本 1)ではあるが	録する。;; する。;; する調係を はに は に は に は に に に に に に に に に に に に に	=b. 『語を用いてな最も悪いであるではないが変状がある	て評価	で統合 かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう しんれい かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅう しんしゅう かんしゅう しんりゅう しんり	#全度に こと。 こと、 たい、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	その際、 を設全体な 機能低下し 下を招く起 ・(機能低)	本票で作を評価す	- る い お る り る り
72	金ec, ktul 変 るiiiiii iv iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	当する調査書物 iv = dと in = d	種ごとに評価し、①変表を用いて評価する。それで、表では、存在では、存在では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	大レベルのの際、併月 ELしなければ、併設される。 併設される。 一、③施 大況が見られ 大況に対し 大況に対し 大況に対し でする変状	記載欄にそで月工法の施設は空欄とするでいる場合はこと。 記設の健全度 れない、もしくに 経微な変状がある とい変状があ	の結果を記 の健全度 i 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な 5る …(本 1)ではあるが	録する。;; する。;; する調係を はに は に は に は に に に に に に に に に に に に に	=b. 『語を用いてな最も悪いであるではないが変状がある	て評価	で統合 かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう しんれい かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅう しんしゅう かんしゅう しんりゅう しんり	#全度に こと。 こと、 たい、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	その際、 を設全体な 機能低下し 下を招く起 ・(機能低)	本票で作を評価す	- る い お る り る り
] = フと (金c, 抜け変③ i ii ii iv 設 そ	当するは iv = dとの iv = de dとの iv = de	種ごとに評価し、①変表を用いて評価する。それで、表では、存在では、存在では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	大レベルののの際、併用ELなければ、併設される。 の時ではいれば、併設される。 のでは、併設される。 のでは、併設される。 は、行いている。 は、大沢にに対し、 は、大沢には対し、 は、大沢には対し、 は、大沢には対し、 は、大沢には対し、 は、大沢には対し、 は、大沢には、 は、大田、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、 は、 は、	記載欄にそで見ている場合はは空欄とするでいる場合はこと。記数の健全度にない、もしくに登している。というではな変状がある。	の結果を記 の健全度 i) 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な ある …(本 が)ではあるが ある	録する。ii する。iii する調価に質問に 個話で は で は で で で で で で で で で で で で で う い い い い い い	=b, 」」 ・	で評価を機能を	を統合 を統合 するとも 能低下	#全度に こと。 こと、 たい、 が 、 が 、 が 、 が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	その際、 を設全体な 機能低下し 下を招く起 ・(機能低)	本票で作を評価す	- る い り る り
1 = フと 花 糸	途 c ,	当するは iv = dとの iv = de dとの iv = de	種ごとに評価し、①変法を用いて評価する。それで、表で、本票へ記録、存在に等の地下水排除工が分接続部を様式-3(2)に対、②部位の健全度(A)・項目に挙げた現象・・・項目に挙げた現象・・・・項目に挙げた現象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大レベルのののでは、併用では、併開記することでは、 のでは、併開記することでは、 のでは	記載欄にそで見ている場合はは空欄とするでした。 記数の健全度 れない、もしくに を登している ましい 変状がある がない あん がある がある がある がある がある がたい しん にん 変 管理者 の かん	の結果を記 の健全度) 、別途該当 (i~iv)の 評は目視困難な ある …(本 が)ではあるが ある	録する。 は ま ま ま ま ま ま ま ま ま	=b, 」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で評価を表示	か部位の付加する を統合 かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ	こと。 こと。 (後能低 … また	を設全体を を設全体を 機能低下してを招くだい。 は機能要与	本票で付を評価す	- る いり るり るり
も	金c, 抜し変 ③ i ii ii iv 設 そ合対 f	当するdとの 調置 グとの き排	種ごとに評価し、①変えを用いて評価する。それで用いて評価する。それでは、存在には、では、②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的位の健全度(A) (②的使生活。	大レベルの の際、併用 にはけれれる。 は併設される。 は併設する。 は大況が見られま 大況がにに対すしま 大次況にに対すしま 大次元である。 は大次元になった。 は一般でする変状 になるを ながら になった。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	記載欄にそでは日本による場合はは、1年による場合は、1年による場合はこと。 記数の健全度 れない、変状がある はい変状がある がない たん を 後を 世春 たん かん	の結果を記 の健全度) 、別途該当 (i~iv)の 評 は目視困難な ある …(本 が)ではあるが ある。 の伝達事項 る。原則とは	録する。 は ま ま ま ま ま ま ま ま ま	=b, 」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で評価を表示	か部位の付加する を統合 かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ	こと。 こと。 (後能低 … また	を設全体を を設全体を 機能低下してを招くだい。 は機能要与	本票で付を評価す	- る いり るり るり
1 = フと 花 糸	金c, 抜し変 ③ i ii ii iv 設 そ合対 f	当するdとの 調置 グンの き井 状レベル(a~c) ま 井 状レベル(a~c) を	種ごとに評価し、①変えを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを表する。とは、②部位の健全度(A) (②部位の健全度(A) (③第1) (②部位の健全度(A) (②第1) (③第1) (④第1) (⑥第1) (⑥**) (⑥	大レベルの (学の (学の (学の (学の (学の (学の (学の (学	記載欄にそでは 用工法の施設 は空欄とする ている場合は こと。 設の健全度 れない、変状がある はを変状がある がない あるいがある がある がある がある がない の施設管理者へ なの健全度全でがある。	の結果を記さの健全度 i) 、別途該当 (i~iv)の 評は目視困難なる。 …(本))ではあるがある。 の伝達事項 の明合)	録する。 コース は ままま ままま ままま は 一番 は で は で は で が と いっぱい かい	=b, 」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で評価を表示	か部位の付加する を統合 かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ かっとれ	こと。 こと。 (後能低 … また	を設全体を を設全体を 機能低下してを招くだい。 は機能要与	本票で付を評価す	- る い り る り る り る り
1 = フと 花 糸	金c、 抜け 変 3 i ii iii iv 設 そ合対 軽	当するdと de a b c d a b c d a b c d b c d b c d b c d b c d b	種ごとに評価し、①変えを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。とれるでは、②部位の健全度(A) : 項目に挙げた現象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大レベルの (伊) で (伊) で	記載欄にそでは 用工法の施設の は空欄とする ている場合は こと。 こと。 設の健全度 れない、もしくに を微ななののでは、 を受けないがある がない がある がない がある がない の他全度全でがは の便全度でのがってのでは全度でのがって のの便全度でのがってのでは、 のでは、 の	の結果を記さい。 の健全度 i) 、別途該当 (i ~ iv) の 評 は目視困難な 5る …(本)) ではあるが 6る。原則とは の場合) つでも含まれる場	録する。詳 する調査 する調査 「	=b. 「」」 主要を用いてある 確はないが、変状がある(明らか) けんの目安」	で評価をおは野	画するを統合 かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゃ 他下 すっと 単曲をコー	こと。 たし、 が (機能	基づいて決定 その際、ご を設全体を 機能低下と にく機能低下 は機能・喪与	本票で存を評価すっていない。れがある下している。	- る い り る り る り る り る り る り 。 。 。 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。)
リニッと(途=c、抜け変③	当するdと de a b c d a b c d a b c d b c d b c d b c d b c d b c d d b	種ごとに評価し、①変えを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。とれるでは、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度がである。 □ がいるでは、「項目に挙げた現象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大レベルの (伊取 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	記載欄にそでは 用工法の施設の場合は は空欄とする でいる場合は こと。 設の健全度 れない、もしくに を微ななりののでは、 を微ななりのでは、 がある がない のに変状がある。 がない。 がある。 がない。 の施設管理者へ ので全度でのが一 の便全度でのが一 の便全度でのでも含まれる場	の結果を記さい。 の健全度 i) 、別途該当 (i ~ iv) の 評なもる …(本 i) ではあるが る。原則とは の場合) つでも含まれる場合) であり、で	録する。詳 する 調査 を は は に は に は に は に は に な に は に な に は に 質 明 ら か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	=b. 「」」 主要を用いてある 確はないが 変状がある(明らか) けんの目安」	で評価という。	画するを統合 のできた できた できた できた できた できた できた できた できた できた	こと。 たし、 が (機能	基づいて決定 その際、ご を設全体を 機能低下と にく機能低下 は機能・喪与	本票で存を評価すっていない。れがある下している。	- る い り る り る り る り る り る り 。 。 。 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。) 。)
リー フと ()	途 c、 抜け 変③ i ⅱ ⅱ ⅳ 設 そ合対 軽 率 要	当す d d v d n d n d n d n d n d n d n d n d	種ごとに評価し、①変えを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを表する。とは、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(方の場合では、1項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、項目に挙げた現象・1、節と機能に影響の施設機能に影響の施設機能に影響のを度が ii である。設の健全度が ii である。これである。	大レベルの (伊取 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	記載欄にそでは 用工法の施設の場合は は空欄とする でいる場合は こと。 設の健全度 れない、もしくに を微ななりののでは、 を微ななりのでは、 がある がない のに変状がある。 がない。 がある。 がない。 の施設管理者へ ので全度でのが一 の便全度でのが一 の便全度でのでも含まれる場	の結果を記さい。 の健全度 i) 、別途該当 (i ~ iv) の 評なもる …(本 i) ではあるが る。原則とは の場合) つでも含まれる場合) であり、で	録する。詳 する 調査 を は は に は に は に は に は に な に は に な に は に 質 明 ら か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	=b. 「」」 主要を用いてある 確はないが 変状がある(明らか) けんの目安」	で評価という。	画するを統合 のできた できた できた できた できた できた できた できた できた できた	こと。 たし、 が (機能	基づいて決定 その際、ご を設全体を 機能低下と にく機能低下 は機能・喪与	本票で存を評価すっていない。れがある下している。	-る い状 る状 る状 る状
川 = ジンと (途=c、抜け変③	当 d d l n d n d n d n d n d n d n d n d n	種ごとに評価し、①変えを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。それを用いて評価する。とれるでは、②部位の健全度(A)、②部位の健全度(A)、②部位の健全度がである。 □ がいるでは、「項目に挙げた現象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大レベルの (伊取 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	記載欄にそでは 用工法の施設の場合は は空欄とする でいる場合は こと。 設の健全度 れない、もしくに を微ななりののでは、 を微ななりのでは、 がある がない のに変状がある。 がない。 がある。 がない。 の施設管理者へ ので全度でのが一 の便全度でのが一 の便全度でのでも含まれる場	の結果を記さい。 の健全度 i) 、別途該当 (i ~ iv) の 評なもる …(本 i) ではあるが る。原則とは の場合) つでも含まれる場合) であり、で	録する。詳 する 調査 を は は に は に は に は に は に な に は に な に は に 質 明 ら か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	=b. 「」」 主要を用いてある 確はないが 変状がある(明らか) けんの目安」	で評価という。	画するを統合 のできた できた できた できた できた できた できた できた できた できた	こと。 たし、 が (機能	基づいて決定 その際、ご を設全体を 機能低下と にく機能低下 は機能・喪与	本票で存を評価すっていない。れがある下している。	-る い状 る状 る状 る状

表 I -2.5.12 様式-3(1):型 O8-1 概查調查票: 擁壁(枠)工

様記	t-3(1):型08-1		概査調査	E票(個別施設i	2録用)		地す	べり防.	止施設機	幾能診断調査							
<u><</u> ‡	雍壁(枠)エ>	*1	施設群の評価は様式	-3(1)型00-1	緯度			経度									
봈	検	手月日	/ /	天候	点検	者												
[2	区域:	名	坦	ウすべりブロック名	j	施設名			施	工年度	年							
_	造/ホ					長	(調1	查票番 号)							
		確認事項					(10.7.2	шин			<u>′</u>							
	設状		□ ふとん籠 □ 片	法枠 🔲 籠枠 🔲	ブロック積みエ	コンクリー	-擁壁工	□他			問題あり							
,,,,	LX 17	湧水状			□流水あり	: 流量(最			1/分		問題あり							
湧	水状	水質状			W(L/1(0) /	· //L±\4	()()		17 23		問題あり							
毎目	訓辞	設 計測器									問題あり							
		の変状レベル		併況の悉品を記えた 島	■4.悪ハ弁能につハてん	ベル判定する	≠ <i>t-</i> ¥//	定規圳人	オス写言									
	112 127	70人人レー・70	TARE CE CINE OF			, s, c, TI	また、判定根拠とする写真番号を示す											
	=	L種·部位	項目		況がない場合は0とする 状況その他の場合は9		а	b c		当写真	健全度							
	П			1.欠損・2.ひび害	訓わ.・3 脱落				ω μ ₂	<u> </u>	(A~D)							
			破損•欠損※		オの流出(籠枠工など	の場合)												
			変位・変形※	1.ずれ・2.はらみ		оу -ы п /												
本		擁壁(枠)コ		1.発錆(籠枠工力														
体		17# 1 (17/1	その他※		ニ等の流出を伴う、流量:	がナキい					1							
			施設背面の変状		・3.侵食・4.湧水・5.構造		#											
			基礎地盤の変状		也盤に接している本体の		6											
-			破損・欠損	1.破断・2.緩み	也強に按している本体の	7変形で刊例/												
	l٦	莎 厂 / + : # + m		1.折れ・2.曲がり	1													
付	ľ	落石防護柵	腐食	1.発錆	'						_							
帯			破損•欠損		14.9麻軒													
施		法尻水路部		1.欠損・2.ひび害	地切れ等)・3.逆勾配						-							
設		(法尻水路・2	変位・変形 K 安命		地切れ等) 3.22 公田						-							
		抜き管)	腐食	1.発錆	******	1 1 7 D/II												
>-	++=	649 ±4:	閉塞・埋没		落葉等堆積・3.植物侵力 トレナロナー	人・4.その他			ļ		-							
※破壊・欠損・変位・変形に裏込め土等の流出が伴う場合は、コメントを残すこと。 ③施設の健全度(i~iv) [景表思・厳位の健全度(i~iv)																		
※①変状レベル(a~d)、②部位の健全度(A~D)、③施設の健全度(i~iv)の順に各々最も悪い評価を統合し、施設全体を評価する。																		
* ((1)、③他設の健全度			個を統合し	ン、他設	全体を記	半個9句	0							
	_	← ② ←		11	評価技				/ 146 /	at let TI.	一・・ナン・・小は台に)							
施設	i 	位			スは目視困難なほど軽 バナス (土)		(機能低下していない状態 はないが放置すると機能低下を招く恐れがある状態											
の健	ii 			状況に対し軽微な変状							している状態)							
全度	iii	l ¥ ├── 』 ŀ			听的) ではあるが明らか がよる													
及	iv	度 D "	d:項目に挙げた現象・	状況に対し著しい変状が	かめる	(明りかに傲	肥低 下	、またはた	成肥丧大	している状態)							
1	布設	周辺地盤状況	」 □ 施設機能に影響	響する変状がある														
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ 施設機能に影響	響する変状がない														
	そ	の他の状況																
■ #	総合:	評価 <i>該当</i>	する選択肢にのを付ける。	点検者から施設管理を	者への伝達事項として/	対応の目安」	を示す。											
	対点	の目安	判断目安(原則、	判断の目安に沿って選	<header-cell> ままれる。原則とは異な</header-cell>	る選択をする	場合は理由	をコメン	ト欄に必	ず記入す	「る。)							
		問題なし	施設の健全度がiであ	る場合(部位の健全度全てカ	NAの場合)													
			施設の健全度が ii であ															
	軽	E微な補修	施設の健全度がiiiであ	る場合(部位の健全度でCが	一つでも含まれる場合)													
	*	甫修·更新	施設の健全度がiv (部位の	D健全度でDが一つでも含まれる	5場合)であり、かつ要因	対明らかで	ある場合や	や対応力	法が明	確な場合	<u> </u>							
	罗		施設の健全度がivであ	り、かつ要因が明らか	いでない場合や対応力	法が明確で	ない場合											
	急対	I/U	【判断目安】①地すべりの再活動や 新たな変状 ②災害等で施設が破損	状況と														
の	必要		3人的被害発生の懸念	対応策														
= ;	点検	結果と対応の	目安に対するコメント	変状の発生要因の推	定、総合評価の判断理	曲等												

表 I -2.5.13 様式-3(1):型 O8-1 概查調查票: 杭工

点	に > 検年月			※施設		調査票 は様式-3(緯度			119	9	- 200	度	能診断調
構造		日	1 1	天		0.19624 01	7100	点検者	THE REAL PROPERTY.	_			_,	1		
構造				10000	No.					_					松工左座	1 /
	域名				りプロック名	The second second	-	肉厚	設名		7 ⊕ ⊞	* #	6 AE C	-	施工年度	<u> </u>
■ 5				杭長		直径		內厚	च		(前	宜元	番号	5 :		
	2.地唯能	争 央 杭頭視認		(状況:)	付帯施設	In .	ы П	あり (エ	插,	-			x T	問題あり
施言	设状況	配置状況		本数		合計	7 2 2 7 3 7 3 6	状	- IBron	99 (T	7里。)	問題あり
:番:	k 44:12	100 100 100 100 100	k □ 湧水あり	个奴			(最大)	1/1/	_	水質·計	铜矿	生				問題あり
-		計測器名	10 10 10 10 10			加里	(東文人)		1/ 2.	小貝町	79C) (E	- 47	-		_	問題あり
1000	Contract of the Contract of th		各項目で当てはる	まる状況の	の番号を試	スノ、最も	要/、13分能/	7/17	1.011	判定する	±1	t- ±	川定井	g that.	トナス写 直着	
	工種・		項目			常な状況が合的な状況	ない場合に	はのとする	5,		а	_	_	伏レ	ベル	②部位の 健全度
	本体	<u>*</u>				記列の乱ね			-3-3		a	D	C	u	以コプ兵	(A~D)
	【注	意】杭の地			2.杭の傾											
杭		B分は目視 な困難な	た変位・変形			ため隙間				9						1
I	め、	杭頭と周辺	1		4.杭の抜											1
		b盤との相対 変状に着			Approx.	杭の間の	也盤の中	抜(ナ)								1
\dashv	н л ч	メバー相	Large - Green	_	STATE OF STATE OF	ひび割れ・		m. //								1
			破損·欠損		5 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中詰材の	2 10 2000	等のは	易合)							
	3	上留め工	変位·変形			はらみ出し		10.001750	4 11 1							
		止面のエ				枠工など				- 5						1
付帯		等)	その他※			込め土等の		う、流量	が大き	(1)						1
施施			施設背面の変物		- A	陥没·3.侵	2010-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-	2 00.000	4 44 74							
設			基礎地盤の変わ		1.沈下・2.	隆起(地盤	こ接してい	る本体	の変形	で判断)						1
×		n + 64	破損·欠損		1.欠損・2.ひび割れ・3.目地切れ・4.摩耗											
	□ 頭音	郎連結工	変位·変形		1.ずれ・2.はらみ出し・3.傾倒											
1		50 - D	破損·欠損		1.損傷・2.	飛び出し										
	ロアン	カーエ	腐食		1.発錆											
		O. MIN	た工種用の点検	ACC 1110	C. II M	12/11/21	1-400	112	00						(i~iv) 基づいて決定]	
X (1	XIV	ベル(a~	d)、②部位の健全/	度(A~D)、③施設	の健全度	(i ~ iv)	の順に	各々量	是も悪い	评価	を紛	i合L	. <i>ti</i>	を設全体を	評価する。
-		ベル(a~ ② ← ①		度(A~D)、③施設	の健全度		の順に 評価指	-	是も悪い	评価	を紛	i合し	, h	徳設全体を	評価する。
施	3 ← i m	② ← (1	评価指	標		评価				を設全体を 機能低下して	
施	3 ← i #	② ← ① A 変 a B 状 b	:項目に挙げた現	象·状況	が見られな	ない、もしくは	t目視困難	評価指なほど!	標 軽微で	ある				·· (‡	機能低下して	こいない状態
施設のは	③ ← i 部 ii の	② ← ① A 変	:項目に挙げた現:項目に挙げた現	象·状況 象·状況	が見られな に対し軽微	い、もしくに な変状があ	t目視困難 5る …()	評価指 なほど 本質的(標 軽微で に支障!	ある まないがカ				··(村 を低	機能低下して	こいない状態 いがある状態
施設の健全	③ ← i 部位の ii の健全	② ← ① A 変 a B 状 b	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現	象·状況 象·状況 象·状況	が見られた に対し軽微 に対し限定	い、もしくに な変状があ 的(局所的	は目視困難 5る …())ではある	評価指 なほど 本質的! が明ら;	標 軽微で に支障! かな変:	ある まないがた 状がある	文置	 する。	・・・・・・と機能	··(村 も低	機能低下して 下を招く恐れ	こいない状態 いがある状態 している状態
施設の健全度	③ ← i	② ← ① A 変数 b C ル c	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況	が見られる に対し軽微 に対し限定 に対し著し	い、もしくに なな変状が を的(局所的 い変状があ	は目視困難 5る …())ではある	評価指 なほど 本質的! が明ら;	標 軽微で に支障! かな変:	ある まないがた 状がある	文置	 する。	・・・・・・と機能	··(村 も低	機能低下して 下を招く恐れ・(機能低下し	こいない状態 いがある状態 している状態
施設の健全度	③ ← i	② ← ① A 変数 a B 状 b C ル	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況	が見られた に対し軽微 に対し限定 に対し著し	ない、もしくに なな変状がも で的(局所的 い変状があ	は目視困難 5る …())ではある	評価指 なほど 本質的! が明ら;	標 軽微で に支障! かな変:	ある まないがた 状がある	文置	 する。	・・・・・・と機能	··(村 も低	機能低下して 下を招く恐れ ・(機能低下し	こいない状態 いがある状態 している状態
施設の健全度施	③ ← i	② ← ③ A g a a B C D d d d d d d d d d d d d d d d d d d	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況	が見られた に対し軽微 に対し限定 に対し著し	ない、もしくに なな変状がも で的(局所的 い変状があ	は目視困難 5る …())ではある	評価指 なほど 本質的! が明ら;	標 軽微で に支障! かな変:	ある まないがた 状がある	文置	 する。 	・・・・・・と機能	··(村 も低	機能低下して 下を招く恐れ ・(機能低下し	こいない状態 いがある状態 している状態
施設の健全度施	③ ← i 部位の健全度 iii v B	② ← ① A B B は b b C D b せ 盤状況 の状況	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 影響する 影響する	が見られるに対し軽微に対し限定に対し著して対し著しる変状がある変状がある	ない、もしくは な変状があ 的 (局所的 い変状があ ある	は目視困難 5る …(:)ではある る	評価指。なほど! 本質的! が明ら;	標と数でに支障に大陸のな変	ある はないがが 伏がある (明らかに	女置 た機能	… する。 能低	・・・・・・と機能	··(村 も低	機能低下して 下を招く恐れ ・(機能低下し	こいない状態 いがある状態 している状態
施設の健全度 施	③ ← ii iii iii iiv 健全度 設周辺	② ← (a B B 大) ベル c D b 地盤状況 の状況 [b <u>該</u> 当]	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 □ 施設機能に □ 施設機能に	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 影響する ド	が見られたに対し軽微に対し限定に対し著しる変状がある変状がある変状がある変状がある	ない、もしくはな変状があるい変状がある。	は目視困難 5る ···(()ではある る	評価指 なほど! 本質的! が明ら;	標経微でに支障いな変	ある はないがが 状がある ・(明らか)	文置 で機能	が が 能低 が する。	・・・・・・ と機能・・・・・・・ 下、ま	···(林 ・···· ・···・ ミた!	機能低下して 下を招く恐わ ・(機能低下し は機能喪失し	ていない状態 いがある状態 している状態 している状態
施設の健全度 施	③ → SE OF	② ← ① A B B C V ル d d d d d d d d d d d d d d d d d d	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 □ 施設機能に □ 施設機能に	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 影響する ける。点を 、判断の	が見られたに対し軽線に対し限定に対し著しに対し著しる変状がある変状がが 検者から施	はい、もしくに なな変状がも を的(局所的 い変状があ ある よい <i>設管理者</i> って選択する	は目視困難 5る …()ではある る への伝達事 5。原則と	評価指 なほど! 本質的! が明ら;	標経微でに支障いな変	ある はないがが 状がある ・(明らか)	文置 で機能	が が 能低 が する。	・・・・・・ と機能・・・・・・・ 下、ま	···(林 ・···· ・···・ ミた!	機能低下して 下を招く恐わ ・(機能低下し は機能喪失し	ていない状態 いがある状態 している状態 している状態
施設の健全度 施 総	③ ← mu do n de e g iii iii iv 設 周 辺 そ 合 に の iii iii iv 設	② ← (a b b c d b c d b c d b c d d b c d d b c d d d d	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 一 施設機能に 一 施設機能に 一 施設機能に	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 た 影響する た り 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	が見られた に対し軽微 に対し限定 に対し著し る変状がが る変状がが 検者から施 目安に沿っ	はい、もしくは なな変状がある 的(局所的 い変状がある ある はい と 数管理者 つ て選択する 理全度全ながA	は目視困難 5る …()ではある る への伝達 り の場合)	評価指 なほど 本質的に が明ら が明ら	標経微でに支障いな変	ある はないがが 状がある ・(明らか)	文置 で機能	が が 能低 が する。	・・・・・・ と機能・・・・・・・ 下、ま	···(林 ・···· ・···・ ミた!	機能低下して 下を招く恐わ ・(機能低下し は機能喪失し	ていない状態 いがある状態 している状態 している状態
施設の健全度 施	③ ・ 部位の健全度 ・ 部位の健全度 ・ 設 周 辺 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	② ← (a b b c d d b c d d b c d d d b c d d d d	:項目に挙げた現	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 影響する ・判断の 場 で で ある場	が見られた。 に対し軽微に対し限定に対しる変状がなる変状がなる変状がなり 検者から施・ 場合(部位の個ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	い、もしくはな変状があるいい。 い変状があるいい変状があるいない。 変質理者ので選択する。 はな変化があるはい	は目視困難 5る …() ではある る の伝 <i>達事</i> の場合) つでも含まれ	評価指 なほど! 本質的(が明ら; が明ら; な異なる 5場合)	標経微でに支障いな変	ある はないがが 状がある ・(明らか)	文置 で機能	が が 能低 が する。	・・・・・・ と機能・・・・・・・ 下、ま	···(林 ・···· ・···・ ミた!	機能低下して 下を招く恐わ ・(機能低下し は機能喪失し	ていない状態 いがある状態 している状態 している状態
施設の健全度 施 総	③ ← side of de	② ← (a b c d d d d d d d d d d d d d d d d d d	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 : 面設機能に 施設機能に 施設機能に 対る選択肢に〇を付 判断目安(原則 施設の健全度が i 施設の健全度が ii	象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 象・状況 影響する ける。点れ でである場	が見られなに対し軽像に対し軽像に対し関定に対し著しいのでは、 に対し関定に対し著しる変状がなる変状がが、 に対し着して、 に対し着の (単位の場合 (単位の) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位) (単位	い、もしくはな変状があるいい。 い変状があるいい変状があるいい。 に変数管理者へいて選択する 理全度全がA 理全度でが一種全度でが一種全度でのが一種全度でのが一	は目視困難 5る …())ではある る への伝達事 の場合) つでも含まれ つでも含まれ	平価指 なほど! 本質的(が明ら; 「項として 5場合)	標と微でに支障しかな変になった。	ある はないがが 状がある (明らか!) の目安/2 する場合	女置 こ機能を示ける	がいまする。	下、ま	…(林	機能低下して下を招く恐れて機能低下して機能低下した機能喪失しな機能喪失し	いない状態 れがある状態 している状態 している状態
施設の健全度 施 総	③ ← si do (de e g を) と の 評価 に で に で に で に で に で に で に で に で に で に	② ← (a b c d d w w k) c d d w w k) c d d w w k k k k k k k k k k k k k k k k	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 : 面設機能に 施設機能に 施設機能に 施設機能に 地設の健全度が i 施設の健全度が ii 施設の健全度が iii	象・状況況 象・状況 象・状況 象・状況 影響する ける。 点の の 場 り り り り い り い り い り い り い り い り り り り	が見られなに対し軽像に対し軽像に対し著しに対し著しに対し着して対し着して る変状がが 検着から施場合(単位の場合(単位の場合(単位の場合)を原でDが一つ	い、もしくはな変状があるいい。 い変状があるいい変状があるいい変状があるいい に変化があるいい。 に変化があるいた。 に変化がある。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が。 に変化が、 に変化が。 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 と変化が、 と変化が、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを	は目視困難 は目視困難 がある。…(() がはあるる。 への伝達事 たる。原則とし の場合) つでも含まれ つでも含まれ 合)であり	評価指 なほど。 本質的II が明らか は異なる も場合) 、かつ	標 経微でに支障! かな変・ で「対応 選択を	ある はないがか 状がある (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかて) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (女置 で機能を示する	 する。 能低 ず。 単由を	と機能である。	···(材 ・···・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機能低下して 下を招く恐れ (機能低下し は機能喪失し は機能喪失し	いない状態 いがある状態 している状態 している状態 入する。)
施設の健全度 施 級 紫	③ → ®位の健全度 ・ ®位の健全度 ・ の評の語 ・ を合応の問題 ・ を被称を ・ では、	② ← g k b c d d g k b c d d g k b c d d g k b c d d g k b c d d g k b c d d k i 更 m a f a f i i i i i i i i i i i i i i i i	:項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 :項目に挙げた現 : 面設機能に 施設機能に 施設機能に 施設機能に 地談の健全度が i 施設の健全度が ii 施設の健全度が iii 施設の健全度が iii 施設の健全度が iii 施設の健全度が iii を iii を iii を iii を ii を ii を ii	象・状況象・状況 象・状況 象・状況 を・状況 か、ででである場 がでである場 の他の他のであり、大	が見られなに対し軽像に対し軽像に対し著しに対し著しに対し着して対し着して る変状がが 検着から施場合(単位の場合(単位の場合(単位の場合)を原でDが一つ	い、もしくはな変状があるいい。 い変状があるいい変状があるいい変状があるいい に変化があるいい。 に変化があるいた。 に変化がある。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化がな。 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が。 に変化が、 に変化が。 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 に変化が、 と変化が、 と変化が、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを	は目視困難 は目視困難 がある。…(() がはあるる。 への伝達事 たる。原則とし の場合) つでも含まれ つでも含まれ 合)であり	評価指 なほど。 本質的II が明らか は異なる 5場合) 、かつ	標 経微でに支障! かな変・ で「対応 選択を	ある はないがか 状がある (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかに) (明らかて) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (明らかで) (女置 で機能を示する	 する。 能低 ず。 単由を	と機能である。	···(材 ・···・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機能低下して 下を招く恐れ (機能低下し は機能喪失し は機能喪失し	いない状態 いがある状態 している状態 している状態 入する。)

表 I -2.5.14 様式-3(1):型 10-1 概査調査票: アンカーエ(1)

様	式-3	(1)	:型10-1			概	查調查票 (個別施設記	録用)		地	すべ	り以	方止施設機	能診图	折調査
	-			※別紙(2)にて、		THE RESERVE THE PERSON NAMED IN	に評価すること	緯度				経	度		
点	検	年月	日	1 1		天候	点検	者							
[区域	名			地す	ベリブロック	名	設名				11	施工年度		年
構	造/相	才質			合計	本数	旧型 🗆 該当	口不明	(調	査票	番号	号:)
-3	見地	確認	事項		_										
目	視状	记	目視可	否 🗆 可 📗	口否	口一部	否 状況							問題あり	
施	設划	代況	テンドン	の飛び出し防止	対策の有	有無 口	あり口なし口他	状況						問題あり	
観	測放	設	計測器	名										問題あり	
	邻位	の多	を状レベノ	各項目で当て	はまる状	況の番号を	記入し、最も悪い状態について	レベル判定す	する。ま	た、判	定相	見拠る	上する写真器	子号を示	きす。
		T 1#	•部位	項目		状況 (星	異常な状況がない場合は0とす	る,		0)変	状レ	ベル		位の
		上作里	, Db.177	坝口			複合的な状況その他の場合は	(9とする)	а	b	С	d	該当写真		全度 ~D)
テ:	ンド		テンド	飛び出し・抜け	ナ落ち	1、テンド	ンの飛び出し、2.抜け落ち								
3			726.	腐食		1、頭部係	呆護がない場合のテンドンの腐	食			/				
111	頭			変位·変形		1、頭部=	コンクリートの浮き上がり								
	部			破損·欠損		1、破損・	2.部分的な欠損								
	コン		頭部コン	ク		3 , 0.5mm	幅を超える程度のひび割れ								
	クリ		リート	1		1、頭部=	コンクリート背面からの漏水・錆	汁							
頭	ĺ			その他		2、頭部=	コンクリートからの遊離石灰								
部	1					3、頭部=	コンクリート背面に隙間				/				
保				変位·変形		1、頭部=	Fャップの浮き								
護	頭部			破損·欠損		1、頭部二	Fャップの損傷・2、緩み・3、欠落	答							
	+		頭部十十	腐食・変質		1、頭部牛	ヤップの材質劣化・2、肉厚減少・3、	浮きを伴う腐食	1						
	ヤツ	_	プ	固定ボルトの	の状態	1、固定7	ボルトの破損・腐食・2、緩み								
	プ			その他		1、頭部=	Fャップ背面からの漏水								
				CONE		2、頭部=	Fャップ周辺の防錆油漏れによ	る汚れ							
				変位・変形		1、プレー	トが人力で回転可能								
プロ						1、頭部・	プレートの浮き(目視による確)	認)							
	-		プレー	腐食·変質		1、プレー	トの肉厚減少や浮きを伴う腐1	食							
				その他		1、プレー	1、ブレート背面からの漏水								
_	_			1507/57			ト周辺の汚れ				\searrow				
Γ.				破損·欠損			以上の連続したひび割れ、2、段差等を付	#うひび割れ			_				
	圧		受圧構	変位·変形		1222	構造物の大きな変状	-			_				
-	造物		物	腐食·変質	_		構造物の肉厚減少や浮きを伴う				_				
1	70			その他			一直下まで達するような大きな	に隙間			_				
CEL	Mr. etc.	1.0	700 V V V V V V V V V V V V V V V V V V				構造物周辺の湧水		_			/		_	
		6 - 6	(2)より転割		7 7 7 7		本 全数に対する割合:	%					(i~iv) 基づいて決定		
* (1)	-	- 2-1	_	-1	施設の健全度	E(i~iv)の順に	こ各々最も悪い評価を統合し、施設全体を モエノエギ		「変も恋し	, EDIT	が歴王	[技]~	参ういて決定」		_
_	T.		2 ←		L 707 AL	D. 18 E 2 L	評価指	Ter-		2372	- N 6	7.1	IN AN IST TO 1	-1 : 4 - 1 :	, in es
施設の)į	位	A 変状		4.400	Minger Service	ない、もしくは目視困難なほど 微な変状がある …(本質的)	VERSON CENTRAL	ようサニ				後能低下して		100
の健	iii	の健	L					mark the same and	7	-	-		(機能低下し		
全度	iv	全度	100				定的(局所的)ではあるが明ら しい変状がある	かな変払かる			_	_			
	-	-	-	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	二次家、小	(ボに対し名		1	ガーで収	RE IES	1.0	-/-1	4版形文人(> CU.	71人湿/
ħ	40.50	000	地盤状況	□ 施設機能	に影響す	る変状があ	る □ 施設機能に影響する	変状がない							
	- 3	100	の状況		101201-0	1. 24 min or Co.									
	総合	評価	5 該当	The same of the sa			施設管理者への伝達事項とし	0 100 100 100			- 6		881- N-18=7	1 -1-7	1
	对师	この	目安		泉則、判断 合計欄	-	うって選択する。原則とは異なる の健全度による点数	る選択をする」	場合は均	里田を	_	-	剛に必ず記り		
		問題	なし	- 0 右欄①	2(3)の条件	(C 0 - this	の健全度が「である場合(部位の健全度	全てがAの場合)				1.0	:異常アンカーた	Control Control	AA = 1
			視	- 1~2 し、合意	る点数を算む 計点①+②+	+ 1 施設	の健全度が ii である場合(部位の健全度	でBが一つでも含	まれる場合	숙)		- 10	異常アンカー全		
	車	-	な補修	- 3 断	じて区分を半	4	の健全度が…である場合(部位の健全度			_	7		異常アンカー全	10000	-
	-		•更新	_ 4 ①:	(2):	The Device of	の健全度が iv である場合(部位の健全度	to a feet of the feet						and order	
	-		細調査	- 5以上 ①+0	2)+(3)=	③加点	+1 (①+②が4以上である場合、)	かつ要因や対応力	法が明確	でない	場合	(加点	ならば〇付ける)	
堅	急対	6.70	有	判断目安】①地すべりの		状況と	7000								
	必要			や新たな変状 ②災害等 が破損 ③人的被害発生		対応策									
	点検	結男	と対応の	目安に対する	コメント 3	変状の発生	要因の推定、総合評価の判断が	理由等							
		1-15			more or 5		A STATE OF THE PARTY OF THE PAR								

表 I -2.5.15 様式-3(1):型 10-2 概査調査票: アンカーエ(2)

<7	アン	カーエ(2)>	※個々	のアンカー	-ごとの評価			1412	11.8					維	度	地すべり防止施設機能診断調査経度											
点	検	年月日	1	1	天候							F	点検	者													
2	区域	名			地すべりた	プロック	名						ħ	拖設	名							施	工年	度			年
構造	告/	材質			合計本数			_		IE	型		該	当		不明	月	(調	查票	番票	号:)
= 1	基本	情報調査組	結果の現	地確認																							
		12.	-		甘士桂却到	π * 4	c+ 69			т	HIL	Tde ≅	T4+	en en							/#	-					
		項	3		基本情報訓	可宜介	石禾			Ī	見地	雅部	公市百:	未							1/19	考					
工法	去																										
-	12000	從×横)			×							×															
配置	置(月	殳×列)			×							×															
11000		造物仕様																									
1000	2000	造物の規模	-													-											
12/06	-	状·活動履	歴																								
		結果	BB - 7 7	= = /A +	0714 -	1.1-	A +	F (7)	ı – vı		4	7 18	A /-			411	. 7	4.4		7.44	1.312	01		#=7	7 -	L 7 .	_ ,
J4	分 ア	ンカー体に	関する	事項 個々	のアンカーご	2/-	合步	70/	-3	Cla	はまる	多場	音la T	1	12	1917	වං	40	,段	第 000 C	一番	与は	业:	9 āC	1 9	9	- 2
点	L					段																					相
検項	X	1	異常が	見られる項	目									-	-			-	-	-	-						おき様
目	14	18																									10
テ	d テンドンの飛び出し、抜け落ち d 頭部保護がない場合のテンドンの腐食				_							+	+	+	H									H	H	۲	
テンド																		-		H						l	
	d	頭部コンク		-	- 7 IN IC																						H
頭部	c	破損·部分								m	9																r
コン	С	2.73		度のひび割	n																						ı
クリ	c	頭部コンク	リート背面	面からの漏水	、 ・ 請汁																						Г
1	b	頭部コンク	リートから	の遊離石灰	3						П										П						ı
10	b	頭部コンク	リート背面	面に隙間																							
	d	頭部キャッ	プの浮き																								Γ
頭	С	頭部キャッ	プの損傷	·緩み·欠落																							
部牛	С	頭部キャップの	材質劣化	ン・肉厚減少や浮	学きを伴う腐食																						
ヤツ	b	固定ボルト	の破損・服	腐食・緩み																							
ブ	С	頭部キャッ	プ背面か	らの漏水																							L
.,	b	頭部キャッ	プ周辺の	防錆油漏れ	による汚れ			-																			L
п	d	プレートが、	人力で回	転可能																							L
ブル	C			(目視による																							L
1	C			や浮きを伴う	う腐食																				-		L
,	C	プレート背に		届水				Н						Н				-									L
	b	プレート周i	The state of the s	アムナド宝川 か ETL	主笙 ナルニア17パワ	itil to		-					-	-	H												H
受	C	受圧構造物			差等を伴うひび	2146		-											-								
圧機	C	受圧構造物			と伴う庭舎														-								
造物	-	アンカー直						Н					-				-							Н			H
123	-	受圧構造物			C '4 ((), (1))																						H
		の他項目			.防止対策があ	る															H						1
		西対象外)	-	査で異音																							1
佢	固々	のアンカー	の評価	(a~d:最も)	悪い項目のレベル	L)							T	1			1.0	-									1
	異常	常アンカーの)本数		本(全数に	対す	-る	割合			%)	b	ベル	の内	訳	a		太	b		本	С		本	d	Ħ	7
	-			」は「レベルト	o~dのアンカー	-	-		_	異常	_	-	_	4000			Ę(1)	0.0		よる。	_			-т'			-17
					からA,B,C・斜														77								
Ot		ベリブロッ													- 11	1 3											
				地すべりつ	ブロックの側方	ī,	有	無	特語	記事	項	7	の他	確認	習され	nt:	事象	、具	常	の発	生原	反列	の推	定	筝		Ξ
		界の変位の																									
->-		ック内、境界	(C) (C) (C)																								
				ク内の湿潤((湧水)の有無																						
Œ	120 100	生生物の亦							1																		